

Abstract

ROMA RESEARCH No.71(Vol.18 No.3)

香辛料 Grains of Paradise 成分の肥満抑制および交感神経活動に与える効果

光永 徹 服部 浩之

<要旨>本研究では、Grains of Paradise (GOP)の肥満抑制効果と作用機構の解明および GOP に含まれる活性成分の単離・構造決定を試み、香気成分として β -カリオフィレン、フムレン、 β -オシメン、リナロールを、また3つの新規化合物を含む17種のバニロイド化合物を単離同定した。

GPO およびその抽出物は香気性化合物のテルペン類により副交感神経が亢進し、バニロイド化合物類による TRPV1 を介した脂肪細胞の萎縮により肥満抑制を示したのではないかと推測している。GOP はトウガラシの 1/1000 の辛味で風味も良く、香辛料としての機能に加え肥満抑制作用や自律神経系に与える影響が大きい事が本研究で初めて明らかにされたことにより、次世代に向けた香辛料であると期待できる。

<キーワード>グレインズ オブ パラダイス, 抗肥満活性, バニロイド, 交感神経, テルペン